

2014 年度 FD カンファレンス概要

※内容は変更になる可能性がありますので、ご承知おきください。

テーマ：「授業をデザインする」

授業を組み立てる際に内容や教材を吟味するのはもちろんですが、受講生数、学生のレベルやレディネス、そして学生が身を入れて学ぶためのしかけとテクニックなど、授業の質に影響を与えるものには様々な側面があります。そのためには、我々の学生はどのような人達なのか、どのように話せば相手は聞くのか、そして教育の目標をどこに定めるか、といった情報とスキルが必要になります。この二日間で、教育と授業の様々な側面をブレイクダウンし、それぞれに確実にアプローチしていきたいと思えます。

全体プログラム

ALL-WS1：「研修の目的を設定する」（加藤善子）

二日間の研修を始めるにあたり、それぞれの目標を設定していきます。いくつかのワークをとおして互いを知り、信州大学の教員同士が興味関心を共有することも目的にしています。

ALL-L1：アクティブ・ラーニングをファシリテートするための「わざ」と「ちから」を考える（米谷淳（神戸大学））

アクティブ・ラーニングを促進するような授業をプロデュースするための心得と、実際にそうした授業を運営するために必要な「わざ」と「ちから」について、いろいろな事例をもとに考えます。セッションはミニレクチャー、個人作業、集団討議を交えた形式で行います。

ALL-WS2：アサーション・トレーニング（矢部正之、加藤敏三）

教員の多くは学生の気持ちを理解しようと努め、対等に接しようと努力していますが、一部の学生は、それに甘んじて必要な指示に従わなかったり、時になれ合いに陥ったりします。相手の立場を否定することなく、あるいは高圧的になることなく、必要なことをきちんと伝え、相手に行動を促すための話し方を練習します。

ALL-WS3：まとめとアンケート（加藤善子）

二日間の研修で、各先生方にとってどのような成果があったかをふりかえります。評価を行った後、解散です。

FD 研修：(A)

A1-WS：「学習時間調査」（李敏）

「今時の大学生は勉強しない」という嘆きを近頃よく耳にします。はたして信州大学の学生は勉強に励んでいるほうなのか、それとも勉強に怠けているほうでしょうか。本セッションにおいては、「学習時間に関するアンケート 2013 年」をはじめとする各種調査の結果に基づき、信大生の学習時間、学習場

所、履修状況、読書習慣などの学習実態をみたくうえで、学習時間を増やす方法について参加者とご一緒に考えていきます。

A2-WS : AP／成績の透明度（加藤鉦三）

いわゆる『学士課程答申』では、大学教員は「厳格な成績評価」をすることが求められました。しかし、それに応えるにはどうしたらいいのでしょうか？簡単に合格させず、また合格させるにしても、できるだけいい成績をつけないようにする、ということなのでしょうか？このセッションでは、「目標管理」という概念を念頭に、「成績」という観点から、私たち教員はどのような授業運営をすることを求められているのかをご一緒に考えていきます。

新任教員 FD 研修 : (B)

B1- WS : ICT の活用について（矢部正之）

大学教育における人材育成に関し、社会からはその質の確保が求められています。単純に考えても、これらの要請に応えるためには、学生への関与の度合いを上げ、手をかけ指導することが必要になります。大学の現状を考えると、通常の方法でこれらに対応することは非常に困難なものがあります。その解決策のひとつとして、ICT（情報通信技術）の活用があります。いくつかの事例を紹介し、皆さんの実践の中で、利用できるかどうか検討していただきます。

B2- WS : ルーブリックを作ろう（加藤善子）

教員が求めることを学生に伝えた上で、学生の成果物を評価する方法に、ルーブリックがあります。このセッションでは、ルーブリックをつくる練習を通して、私たちが学生に要求している様々な要素を「みえる化」していきます。その上で、何が評価可能で何が評価不能なのか、また、教員が考える水準を学生に伝える方法を議論したいと思います。

担当者 :

米谷淳：神戸大学大学教育支援機構教育支援研究推進室 室長

矢部正之：信州大学高等教育研究センター副センター長

加藤鉦三：信州大学高等教育研究センター

加藤善子：信州大学高等教育研究センター

李敏：信州大学高等教育研究センター

☆「カンファレンス」について :

「FD 研修」と「新任教員 FD 研修」を同時進行の「カンファレンス」形式（分科会形式）で開催します。参加者はメニューを選択できますので、様々な教職員と交流をしながら、それぞれのプログラムの中から各自の興味や必要に応じて参加することができます。対象は信州大学の全教職員および県内高等教育機関の教職員です。各学部 2～3 人の方と他大学の方々にご参加いただくことで、異分野ならびにアプローチ・手法の異なる教育に関する交流を通して新たな視点を得ることができることでしょう。

☆ 新任教員 FD 研修について：

4月の新任教員研修のフォローアップ研修として実施します。対象は、信州大学に着任されたばかりの教員の方々だけではなく、着任3年以内の教職員の方々までと広がっています。本学で教育にあられる上で有用な情報等を得られる機会であり、同じ学部・他学部の先生方と交流を深め、互いに学び合う良い機会でもありますので、2014年4月の新任教職員研修対象者のみなさまは原則としてご参加ください。